



# 週間情報



No.0813

発行日 令和8年3月31日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ シーサーの祈願式を実施

#### 中城北中城消防本部（沖縄）

中城北中城消防本部では、令和8年3月13日（金）、当消防本部および消防署の新庁舎落成式を迎えるに当たり、新庁舎正門に遷座したシーサーの祈願式を実施しました。

このシーサーは、平成28年に旧庁舎において入魂式を執り行っており、これまで地域を見守ってきた魂の宿る像です。

当日は、本シーサーの製作者である山内米一氏をお招きし、職員と共に、今後の当消防本部および消防署の安寧と、村民のみならず県民全体の「安全・安心」を願う祈りを捧げました。

山内米一氏は、自身の作品が新庁舎に納められる意義について、「シーサーには魔除けの意味もありますが、「火除け」の力があります。消防署という、火災から人々を守る場所にお納めいただくことは、製作者としてこの上ない誉れです。」と語られました。

シーサーは、新たに完成した庁舎の前で威厳ある姿を示し、山内米一氏の言葉通り、火災という災厄を退け、地域の人々の「安全・安心」の象徴として、今後も末永く地域を見守っていただきます。



【祈願式の様子】



【遷座されたシーサー】

## ◆ 新庁舎の運用を開始

### 茅ヶ崎市消防本部（神奈川）

茅ヶ崎市消防本部では、令和8年3月17日（火）、当市寒川町宮山地区において、整備を進めていた宮山出張所の新庁舎の完成披露式および開所式を実施し、運用を開始しました。

当消防本部は、当市と同町が令和4年度から事務委託方式により消防の広域化を開始したことに伴い、同町の消防業務を担っております。

この出張所は、敷地面積約1,500平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造2階建てで、延べ面積659.86平方メートルとなっており、床面積に算入されない中2階部分も143.46平方メートル確保しています。

また、消防ポンプ自動車1台、救急車1台、非常用救急車1台を配備し、同町北部地域の消防・救急活動の拠点として迅速な対応体制を整えているほか、訓練用ベランダ、模擬消火栓、放水壁、放水室、連結送水管などの訓練設備を備え、同町消防団の訓練にも活用されます。

現在、同町の中央に位置する寒川分署を令和13年までに南部地域に移転し、消防拠点を町内の南北にバランスよく整備することを計画しており、今後も、両市町で協力し、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【完成披露式および開所式の様子】



【新庁舎】

## 訓練

### ◆ 中高層建築物火災を想定した消防訓練を実施

### 小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年3月2日（月）、春季全国火災予防運動の一環として、市内にある白鷗大学大行寺キャンパスの7階建て校舎において、中高層建築物火災を想定した消防訓練を実施しました。

当日は、「校舎5階から出火した。」との想定で、自衛消防隊による初動対応と消防隊への引継ぎ、消防隊による消火・要救助者救出訓練、はしご車による梯上放水訓練を実施しました。

また、訓練後には、同大学を管轄する豊田分署神原分署長が訓示を行い、「平素からの不断の備えと訓練の積み重ねが、火災による被害を最小限に抑える事ができます。」と強調しました。

この訓練を通じて、中高層建築物火災における消防戦術の向上を図るとともに、大学関係者や住民への火災予防意識の周知と高揚を図ることができました。

今後も、訓練を重ね、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

## ◆ 中高層建物火災を想定した消防訓練を実施

### 鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和8年3月2日（月）、春季全国火災予防運動の一環として、株式会社鳥取銀行本店にご協力いただき、中高層建物火災を想定した消防訓練を実施しました。

この訓練は、地域住民の防火意識の高揚を図ることを目的として実施したものです。

当日は、地元新聞社がプロデュースするアイドルグループ「SEA BLOOM（シーブルーム）」のメンバー5人に一日消防署長を委嘱し、防火広報を実施しました。

また、消防訓練では、同銀行の社員約200人が参加し、消火・119番通報・避難誘導の自衛消防訓練を行い、逃げ遅れた方の情報と火災の状況を駆けつけた消防隊に伝達した後、一日消防署長の「活動開始！」の合図で、消防隊・はしご隊・高度救助隊がそれぞれ消火活動と救出活動を行いました。

今後も、効果的な方法で防火意識の向上を図るとともに、火災発生時の初動体制の構築を目指し、火災予防思想の一層の普及につなげてまいります。



【SEA BLOOMとの記念撮影】



【訓練の様子】

## ◆ フィードバック研修としてブラインド型図上訓練を実施

### 西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和8年3月10日（火）、令和7年度広域応援指揮課程を修了した職員によるフィードバック研修の一環として、消防司令および消防司令補を対象に、災害時の受援を主眼としたブラインド型図上訓練を実施しました。

当日は、「管内で地震および津波が発生した。」との想定で、参加職員を6グループに分け、グループごとにリーダー、書記、連絡員、補助員を指定し、時間経過とともに次々とスライドに表示される情報を基に、グループ内で意見をまとめて発表しました。

各グループは、震災マニュアル資料などを確認しながら訓練を行い、改めて「準備」の大切さに気づくことができました。

今後も、訓練を継続し、災害発生時に適切に対応できるよう、消防力および知識の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

## ◆ チェーンソー技術習得訓練を実施

### 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年3月10日（火）、11日（水）の2日間、チェーンソー技術習得訓練を実施しました。

当日は、日本財団災害対策事業部の黒澤氏、日本財団ボランティアセンターアドバイザーの鈴木氏を講師としてお招きし、座学でチェーンソーの基礎知識についてご講義いただいた後、実技訓練で丸太の各種切断方法、チェーンソーの構造、メンテナンス方法についてご指導いただきました。

今後も、市民の皆さまの安全・安心を守るため、日々の訓練に励んでまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 「令和7年度多数傷病者災害対応訓練」を実施

### 大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和8年3月11日（水）、「平和堂アル・プラザ鶴見」において、「令和7年度多数傷病者災害対応訓練」を実施しました。

この訓練は、指揮隊の部隊運用要領を確認するとともに、救急隊の多数傷病者対応能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部職員のほか、大垣市民病院、大垣徳洲会病院、西濃厚生病院の3医療機関からなる医療チーム約60人が参加し、「営業時間中のイベント会場で何者かが刃物を持って暴れまわり、多数の傷病者が発生した。」との想定で訓練を実施しました。

今後も、さまざまな訓練を実施し、救急活動能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 館林地域メディカルコントロール協議会「多数傷病者対応机上訓練」に参加

### 館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年3月13日（金）、館林地域メディカルコントロール協議会が主催する「多数傷病者対応机上訓練」に参加しました。

この訓練は、局所災害対応マニュアルを見直すとともに、多数傷病者対応への理解を深めることを目的として開催されたものです。

当日は、同協議会の構成医療機関、県内の消防本部（局）、高速道路を管轄する近隣県の消防本部、県庁、保健福祉事務所などから約100人が参加し、利根中央病院長の関原正夫氏を講師としてお招きして、机上訓練を実施しました。

訓練では、「東北自動車道における交通事故で、多数の傷病者が発生した。」との想定で、事故現場全体を俯瞰できる模型や傷病者カードを活用した実践的な内容で実施・検討し、指揮命令系統、先着隊の役割、各隊の配置、情報伝達などを再確認することができました。

この訓練を通じて、高速道路における事故対応について理解を深めるとともに、地域全体の災害対応力の向上を図ることができ、関係機関との連携強化につながる貴重な機会となりました。

今後も、各関係機関が一体となり、地域住民の安全・安心を守るための取り組みを継続してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 「令和7年度火災防ぎょ練成会」を実施

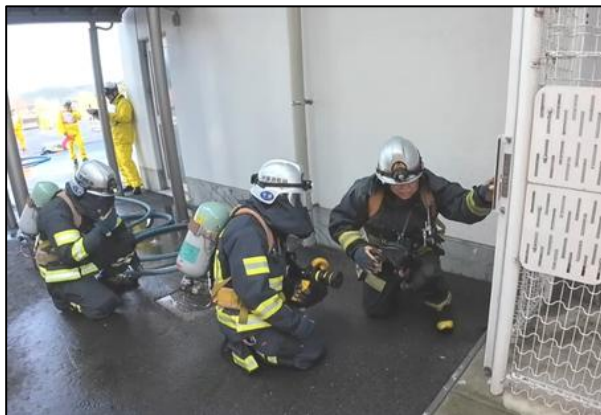
### 鳥取中部ふるさと広域連合消防局（鳥取）

鳥取中部ふるさと広域連合消防局では、令和8年3月12日（木）、13日（金）の2日間、天神川河川防災ステーションにおいて、「令和7年度火災防ぎょ練成会」を実施しました。

当日は、管内4消防署から計13小隊が参加し、木造2階建て住宅火災を想定した実践的な内容で、類焼阻止のための放水、三連はしごを活用した要救助者の救出、屋内進入による火勢鎮圧の3項目を小隊単位で実施し、消防活動の確実性と安全管理の実施状況を重点に審査しました。

参加した隊員は、訓練を通じて、迅速な状況判断や隊員間の連携の重要性を再確認することができ、災害対応力の向上につなげることができました。

今後も、継続的な訓練を通じて、安全で強靱な地域づくりに取り組んでまいります。



【練成会の様子】

## 研 修

### ◆ 「ハラスメント防止研修」を実施

#### 東温市消防本部（愛媛）

東温市消防本部では、令和8年3月16日（月）、17日（火）の2日間、全職員を対象とした「ハラスメント防止研修」を実施しました。

当日は、一般社団法人愛媛県ネットワーク協会代表理事の幸田裕司氏を講師としてお招きし、ハラスメントの基礎知識などについて、具体例を織り交ぜながら分かりやすくご講義いただき、ハラスメントのない職場環境にするためにはコミュニケーションが大事であることを強く認識しました。

また、グループワークを行い、普段あまり話す機会がない職員とも和やかな雰囲気の中で対話しながら、コミュニケーションの取り方のコツを楽しく学ぶことができました。

多くの受講者から「研修の内容を今後の業務に活かしていきます。」、「今後も研修が必要だと思います。」との感想を聞くことができ、大変有意義な研修となりました。

今後も、継続してハラスメント防止対策の推進に努めてまいります。



【研修の様子】

## そ の 他

### ◆ 消防功労者に感謝状を贈呈

#### 西置賜行政組合消防本部（山形）

西置賜行政組合消防本部では、令和8年3月16日（月）、消防功労者の3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年2月12日（木）、長井市内で発生した火災事案において、付近を通行していた消防功労者の3人が協力し、早期に119番通報を行うとともに、自宅から消火器を持参し初期消火を行うなど、被害の拡大防止に大きく貢献したものです。

地域の安全を守るために行動された皆さまの高い防災意識と勇気ある行動に、心より敬意と感謝を申し上げます。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 「宮若市鞍手郡 消防・救急標語コンクール」の表彰式を実施

### 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、令和8年3月3日（火）、春季全国火災予防運動の一環として、管内の小学校6年生を対象とした「宮若市鞍手郡 消防・救急標語コンクール」の表彰式を実施しました。

このコンクールは、作品の制作過程を通じて、児童の防火・防災意識の向上を図るとともに、救急業務への理解と認識を深めていただくことを目的として、毎年実施しているものです。

当日は、329点という多数の応募作品の中から最優秀賞に選ばれた「大切なのは 一人一人の火の用心」の制作者である、鞍手町立剣北小学校の熊井杏さんに対し、表彰状を贈呈しました。

熊井さんは、「一人だけで火の用心をしても意味がないため、一人一人みんなが、火の用心をして火事をなくしてほしいとの想いで作成しました。」と語られました。

今後は、1年間、受賞した作品を管内の消防業務に係る広報活動に活用してまいります。



【表彰状贈呈の様子】



【表彰状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 「第13回我孫子市消防防災まつり」を開催

### 我孫子市消防本部（千葉）

我孫子市消防本部では、令和8年3月7日（土）、アビクオーレエントランスホールにおいて、「第13回我孫子市消防防災まつり」を開催しました。

当日は、一般財団法人電力中央研究所の稲田恵美子氏に一日消防署長を委嘱し、幼年消防クラブとキッズダンスによる演舞披露、バルーンアートや消防車両展示、子供防火服の着装体験などを実施しました。

また、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」、当市マスコットキャラクター「手賀沼のうなきちさん」、一般財団法人電力中央研究所マスコットキャラクター「でんけんぼーや」が登場し、盛況のうちに閉会となりました。

今後も、同イベントを通じて、火災予防啓発活動に努めてまいります。



【一日消防署長委嘱後の記念撮影】



【演舞披露後の記念撮影】

## ◆ 「火災予防フェア i n 練馬消防署」を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和8年3月7日（土）、春季全国火災予防運動の一環として、庁舎を一般の方に開放し、「火災予防フェア i n 練馬消防署」を開催しました。

当日は、約600人が来場し、初期消火体験、応急救護体験、はしご車との記念撮影、ミニ消防車運転などを行ったほか、カプセルトイやフォトスポットを設けたところ、親子から大好評で、楽しみながら防災について学ぶ姿を見ることができました。

また、職員は、地域の方々へ日頃の消防業務へのご協力に対する「ありがとう」の気持ちを伝えるため、感謝の言葉を自筆で記入したカードを胸につけ、メッセージを伝えました。

この取り組みを通じて、地域の方と職員をつなぐ架け橋となるイベントとなり、アンケートでは、来年の開催を待ち望む声を聞くことができました。



【フェアの様子】

## ◆ 「防火広報マラソン」を開催

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

大洲地区広域消防事務組合消防本部では、令和8年3月7日（土）、当消防本部大洲消防署本署において、春季全国火災予防運動の一環として、「防火広報マラソン」を開催しました。

このイベントは、地域住民に火災予防への関心を高めていただくとともに、地域の活性化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、天候にも恵まれ、市内の住宅街約10キロメートルのコースにおいて、執務服を着装してのぼり旗を携行した職員が、火災予防と住宅用火災警報器の設置を呼び掛けながらマラソンを行い、地域住民と挨拶を交わすなど、交流を深めることができました。

今後も、単に呼びかける広報ではなく、盛り上げる広報を目指し、住民に火災予防について関心を持っていただけるよう努めてまいります。



【防火広報マラソンの様子】

## 消防学校からの便り

### ◆ X線透過装置を使用した火災調査実習を実施

#### 青森県消防学校

青森県消防学校では、令和8年3月9日（月）、10日（火）の2日間、消防職員専科教育火災調査科において、X線透過装置を使用した実習を初めて実施しました。

このX線透過装置は、最近の火災の原因が多様化・複雑化し、火災調査の困難性が増していることを踏まえ、より質の高い教育訓練を実施するため、今年度から導入したものです。

当日は、本装置を活用し、出火原因と思われる電気機器や配線器具などの物件を破壊や分解をすることなく内部を観察しながら、鑑識・鑑定などを行ったほか、火災調査書類を作成し、調査結果の発表を行いました。

今後も、本装置を活用した教育訓練をより充実させ、火災調査業務を担当する職員の技術の向上に努めてまいります。



【実習の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 防災性能に係る耐洗たく性能の基準の一部を改正する件について（通知）

（消防予第76号、令和8年3月18日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

日本産業規格（JIS）では、これまで水質の環境基準や排水基準等の試験方法として「K0101（工業用水試験方法）」、「K0102（工場排水試験方法）」が採用されていましたが、試験項目が多く改正作業が非常に煩雑で、技術動向に即したタイムリーな改正が困難という課題があったため、類似する2つの規格を統合した上で試験対象分野毎に分冊化し、新たな規格として全5部からなる「JIS K0102 規格群（工業用水・工場排水試験方法）」が制定されました（令和6年10月21日までに公示済み。）。従前の「K0101（工業用水試験方法）」については、令和8年中に廃止される予定です。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

[https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260318\\_yobou\\_76.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260318_yobou_76.pdf)）に掲載されています。

（連絡先）

消防庁 予防課

担当：川合、谷川、櫻川

TEL：03-5253-7523

◆ **女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組等に関する調査の結果について（通知）**  
**（消防消第76号、令和8年3月24日）**

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素から、女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的な取組に関し多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

消防庁では、昨年度開催した「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」の提言内容を踏まえ、「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍の推進及びハラスメント対策の徹底について（令和8年1月14日付け消防消第11号）」を発出し、「女性消防吏員の比率について将来的に10%程度まで引き上げることを目指し、まずは5年後（令和13年度）までに採用者に占める女性の比率を10%以上とすること」を目標に掲げるとともに、各消防本部において、女性消防吏員の活躍推進に係る取組を積極的に実施していただいているところです。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260324\\_syoukyu76.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260324_syoukyu76.pdf)) に掲載されています。

消防庁消防・救急課  
職員第一係 小川・能登  
TEL：03-5253-7522  
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

◆ **災害情報伝達手段としてのドローンの活用について（通知）**  
**（消防情第117号、令和8年3月24日）**

消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素から、消防防災行政の推進に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

防災行政無線等は、PUSH型の一斉同報手段であり、スマートフォン等を持たない住民へも情報を伝達することができるなどの特長を持つことから、災害時の主たる情報伝達手段として、消防庁ではその整備を推進しています。

一方で、従来の屋外スピーカーを用いた防災行政無線の放送は、沿岸部で広範囲に災害情報伝達を行うには多数の設備が必要であること、山間部などにおいて地理的条件によっては設備設置のハードルが高い場合があるなど、放送を行うための設備設置を推進する上で課題が存在しています。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ  
(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260324bojyou17.pdf>) に掲載されています。

(問い合わせ先)  
消防庁 国民保護・防災部防災課  
防災情報室  
担当：池町、勝山、林、津辻、中村  
TEL：03-5253-7526  
E-mail：bgm-boujo@m1.soumu.go.jp

## ◆ 令和8年度消防庁広報施策テーマについて

(事務連絡、令和8年3月19日)

消防庁総務課長から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から、消防防災関係の広報につきまして、格別の御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、火災をはじめ、各種災害の発生を防止するとともに、その被害を最小限に食い止めるためには、国民一人ひとりが防火・防災を自らの課題として考え、行動していくことが強く望まれます。

そのため、消防庁では、防火・防災に関する情報を提供し、国民の安全・安心を維持向上させていくことを目的に、毎年度広報施策テーマを定め、記者発表や下記の媒体の活用により、広く国民に対し広報活動を実施しております。また、映画やテレビドラマなどのメディアと連携した広報にも取り組んでいるところです。

今般、令和8年度の消防庁広報施策テーマにつきまして、別添のとおり作成いたしましたので、各団体におかれましては、当該広報施策テーマをご参考のうえ、地域の実情に応じて、消防防災分野で効果的な広報活動を推進されますようお願いいたします。(別添省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/r8kouhoutema.pdf>) に掲載されています。

### 【担 当】

消防庁総務課広報係  
神田、中村、池内  
TEL : 03(5253)7521

## ◆ 「令和7年度消防庁女性活躍ガイドブック」の作成について

(事務連絡、令和8年3月24日)

消防庁消防・救急課から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素から、女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的な取組に関し多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、消防庁では、「令和7年度消防庁女性活躍ガイドブック(以下「ガイドブック」という。)」を作成しました。

このガイドブックは、女性消防吏員の更なる活躍推進に向けた取組に係る「各消防本部の良好な取組事例」や「女性消防吏員活躍推進モデル事業の取組事例」、「基礎データ資料」について掲載しています。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260324\\_R7guidebook.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20260324_R7guidebook.pdf)) に掲載されています。

消防庁消防・救急課  
職員第一係 小川・能登  
電 話 03-5253-7522(直通)  
E-mail shokuin@soumu.go.jp

## 報道発表

### ◆ 令和7年度総務省消防庁消防団協力事業所表示証の交付団体の決定

(令和8年3月19日、消防庁)

令和7年度総務省消防庁消防団協力事業所表示証の交付団体を次のとおりとしましたので、お知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/houdoushiryokouhudanntaikettei.pdf>) に掲載されています。

#### 【連絡先】

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室  
(有村補佐、青山係長、橋本事務官)

TEL：03-5253-7561 (直通)

E-mail：chibou.syobodan/atmark/soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」  
と表示しておりますので、送信の際は、「@」に  
置き換えてください。

### ◆ 地方公共団体における業務継続計画・受援計画策定状況の調査結果

(令和8年3月19日、内閣府政策統括官(防災担当)、消防庁)

消防庁及び内閣府では、地方公共団体における業務継続計画・受援計画の策定状況(令和7年4月1日現在)について調査を実施し、これを取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260319\\_bcp.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260319_bcp.pdf)) に掲載されています。

#### (連絡先)

消防庁国民保護・防災部防災課

木村(聖)、木村(将)、三原

電話：03-5253-7525

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(防災計画担当)付  
織江、三浦

電話：03-5797-7946

◆ 地方公共団体における業務継続性確保のための非常用電源に関する調査結果

(令和8年3月19日、消防庁)

消防庁では、災害対策本部が設置される地方公共団体の庁舎における非常用電源に関する調査(令和7年4月1日現在)を実施し、これを取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260319\\_hi\\_jyoyo.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260319_hi_jyoyo.pdf)) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁国民保護・防災部防災課

震災対策専門官 木村 聖洋

震災対策係長 木村 将

総務事務官 三原 尚

電話:03-5253-7525

F A X:03-5253-7535

◆ 「災害情報伝達手段としてのドローンの活用に関する検討報告書」の公表

(令和8年3月24日、消防庁)

消防庁では、令和7年9月より「災害情報伝達手段としてのドローンの活用に関する検討会」を開催し、今般、報告書を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260324\\_boujou.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260324_boujou.pdf)) に掲載されています。

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課

防災情報室

担当：池町、勝山、林、津辻、中村

電話：03-5253-7526 (直通)

Email：bgm-boujo\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

**情報提供**

◆ 2026年度 全国統一防火標語は「火の確認 いい日を支える いい習慣」  
～防火ポスターのモデルには、タレント・モデルの塚本恋乃葉さんを起用～

一般社団法人日本損害保険協会

一般社団法人日本損害保険協会（会長：船曳真一郎）では、1949年度から、防火意識の高揚を目的として、全国統一防火標語・防火ポスターによる啓発活動を行っています。

2026年度の防火標語は「火の確認 いい日を支える いい習慣」に決定しました。

また、タレント・モデルの塚本恋乃葉さんを起用して、同標語を掲載した防火ポスターを約20万部制作しました。

本ポスターは、今後、総務省消防庁の協力のもと、全国の消防署や役所などの公共機関等に、2026年4月から翌年3月まで掲出され、塚本さんの明るく元気な笑顔とともに、日々における防火意識の大切さを全国に呼びかけます。

当協会では、社会の安心・安全に貢献するため、今後も防火・防災に係る啓発活動に取り組んでまいります。

【塚本恋乃葉さんからのコメント】

この度、歴史ある防火ポスターのモデルを務めさせていただけたことを、大変光栄に思います。火の確認を習慣にすることが、自分自身や大切な人を守ることに繋がると感じています。

このポスターを通じて、そんな思いが一人でも多くの方に届き、皆さんの「いい日」をつくるお手伝いできればと願っています。



＜塚本恋乃葉さんのプロフィール＞

- ・2004年10月26生まれ、広島県出身
- ・第46回ホリプロタレントスカウトキャラバンでグランプリ受賞
- ・日本テレビ「世界の果てまでイッテQ！」にて、新メンバー、出川ガールとして出演中。
- ・広島ホームテレビ「ピタニュー」、隔週レギュラーとして出演中
- ・そのほか、「永谷園」「株式会社イズミ」「みどりグループ」などの広告にも出演中

モバイルバッテリーの  
火災予防動画はコチラ



防災に関する情報は  
コチラ



（ご参考）過去5年の全国統一防火標語

年度	全国統一防火標語	防火ポスターモデル
2025年度	急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし	田畑 志真 さん
2024年度	守りたい 未来があるから 火の用心	山崎 玲奈 さん
2023年度	火を消して 不安を消して つなぐ未来	野口 絵子 さん
2022年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心	天翔 愛 さん
2021年度	おうち時間 家族で点検 火の始末	福本 莉子 さん

※ お知らせ

消防本部所在地に変更がありましたので、ご連絡いたします。

【消防本部コード 32008】 峡南広域行政組合消防本部

- 1 所在地  
〒409-3605  
山梨県西八代郡市川三郷町下大鳥居750番地1
- 2 移転日  
令和8年3月30日（月）
- 3 電話番号  
消防本部（代表） 055-272-8119  
消防課庶務係 055-272-1918  
消防課警防係 055-272-1919  
予防課 055-272-7613
- 4 FAX番号  
055-272-0655

【消防本部コード 84111】 名西消防組合消防本部

- 1 所在地  
〒779-3223  
徳島県名西郡石井町高川原字高川原65-1
- 2 移転日  
令和8年3月25日（水）
- 3 電話番号  
消防本部（代表） 088-674-6788
- 4 FAX番号  
088-674-6706

## 消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

### 【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。

・文章は、Word で200～400文字程度、写真は、1～2枚を Word に貼り付けて送付してください。

（貼り付けできない場合は、JPEG 画像データを送付してください。）

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西（4月から担当が変わります。） TEL：03-4500-6622

原稿データは、[weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp) に送信願います。



## 機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・**トップ・セカンド記事** 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・**消防ワイド** 写真中心の自由投稿 文章：Word100字程度／写真：JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田（4月から担当が変わります。） TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事：[kikakeikaku@fcj.gr.jp](mailto:kikakeikaku@fcj.gr.jp) 消防ワイド：[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)

※添付 5MB 超は分割送信



## 消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、[全国消防長会ホームページ](#)を検索!!!



## 「消防行政相談事例集」はじめました。

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムへの掲載を開始しました。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。

